

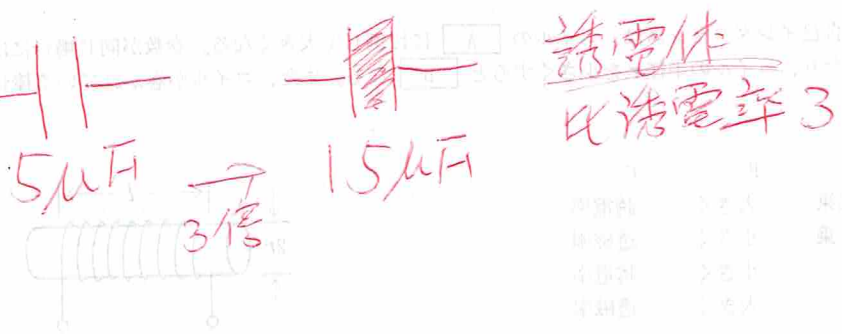
### 第一級アマチュア無線技士「無線工学」試験問題

30問 2時間30分

A-1 次の記述は、コンデンサの構造や用途について述べたものである。□内に入れるべき字句の正しい組合せを下の番号から選べ。

- (1) <sup>マイカ</sup>コンデンサは構造や材質などによっていろいろな種類に分類されるが、雲母の薄片にスズ等の金属はくを電極として付けた **A** コンデンサは、絶縁性が良く温度及び周波数特性ともに優れている。
- (2) <sup>マイカ</sup>ロール状のアルミニウムはくの表面に形成された、極めて薄い酸化皮膜を誘電体としたものは **B** <sup>マイカ</sup>コンデンサと呼ばれ、大容量のものが作れるが、一般には極性があるので直流用として用いられる。
- (3) 円板又は円筒状の磁器に銀を焼き付けて電極にしたものをセラミックコンデンサといい、**C** が大きいのでコンデンサの形状を小さくすることができる。

1 <u>マイカ</u>	B <u>電解</u>	C <u>比誘電率</u>
2 <u>タンタル</u>	<u>フィルム</u>	<u>比誘電率</u>
3 <u>タンタル</u>	<u>電解</u>	<u>比透磁率</u>
4 <u>マイカ</u>	<u>フィルム</u>	<u>比透磁率</u>



□内に入れるべき字句の正しい組合せを下の番号から選べ。

(1) 図1の回路は、抵抗Rの値が異なる場合、端子A-B間の電圧が最大となるのは、Rの値が何倍か。

(2) 図2の回路は、抵抗Rの値が異なる場合、端子A-B間の電圧が最大となるのは、Rの値が何倍か。

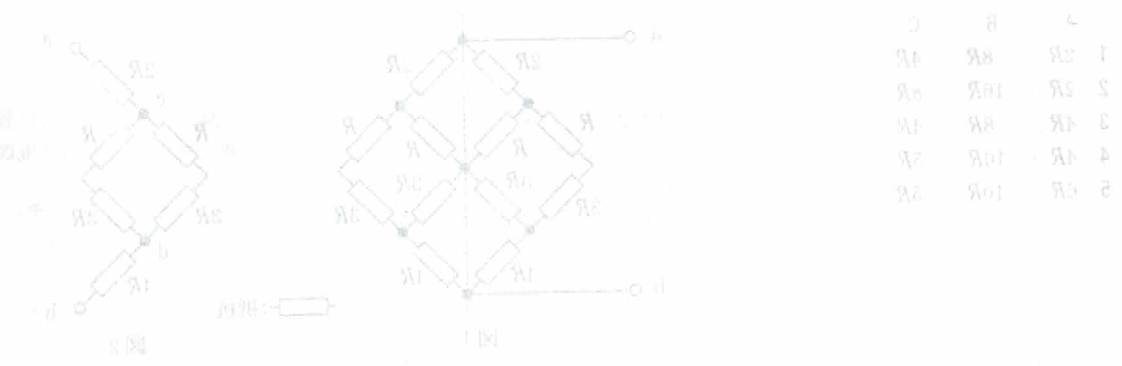


図3の回路は、抵抗Rの値が異なる場合、端子A-B間の電圧が最大となるのは、Rの値が何倍か。

図4の回路は、抵抗Rの値が異なる場合、端子A-B間の電圧が最大となるのは、Rの値が何倍か。

